

就労アセスメントと 就労選択支援従事者に求められる 研修内容について

秋田大学 前原和明

自己紹介

- 所属：

秋田大学 教育文化学部 特別支援教育講座
教授 前原 和明（まえばら かずあき）

- 専門分野：

特別支援教育、職業リハビリテーション

本日の内容

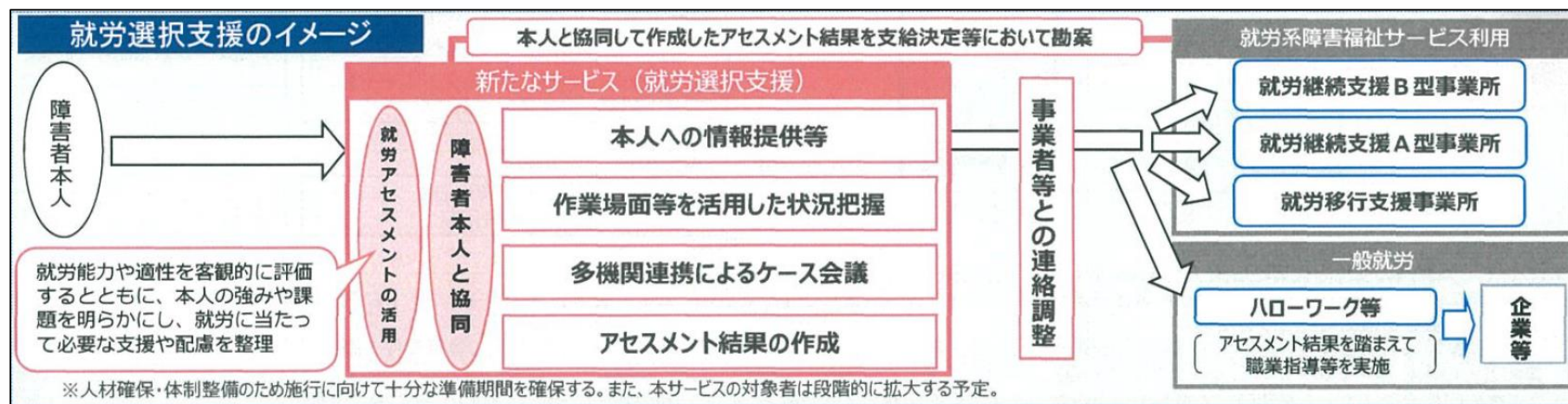
- 就労選択支援のポイント
- 関連研究の実施状況
- 今後に向けた検討

就労選択支援のポイント

「就労選択支援」とは

【成立】2022年12月

就労アセスメント（就労系サービスの利用意向がある障害者の共
同による、就労ニーズの把握や能力・適性の評価及び就労開始後
の配慮事項等の整理）の手法を活用した「就労選択支援」を創設
するとともに、ハローワークはこの支援を受けた者に対して、そ
のアセスメント結果を参考に職業指導等を実施する。



障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会WGの議論がベース

支援内容

本人と協同しながら、以下の内容を実施

- 就労に関する本人の意向、適性、能力、強みや課題、就労に当たって必要な支援や配慮等の整理（※実際にやってもらい可能性を探す。選んでもらう。）
- 地域の関係機関を交えたケース会議の開催
- 地域における就労支援に係る社会資源や雇用事例などに関する情報提供
- アセスメント結果の作成
- 支援後の本人の選択に応じた、地域の関係機関との連絡調整

関連研究の実施状況

これまでの研究

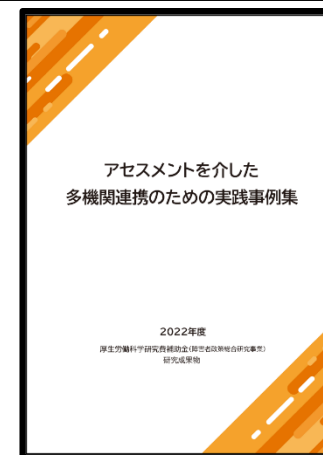
障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会

JEEDの研究→

【2019】
就労に関するアセスメントツールや手法の活用実態と課題についての研究

【2020】
就労アセスメントの実施促進に向けた多機関連携による就労支援モデル整備のための調査研究

【2021-2022】
就労系障害福祉サービスの支給決定プロセスにおける職業的なアセスメントを介した多機関連携のあり方に関する研究



職業的アセスメントの活用促進のための研究プロジェクト
Project-VA



<https://sites.google.com/view/project-va>

今年度の研究の動向

人材の養成、支援体制の整備

- 支援手法を習得するためのカリキュラムや教材の開発
- 全国共通の研修を実施する体制を整備

【厚労科研】 就労選択支援従業者の養成のための研修における標準プログラムの開発についての研究（2023年度）

- 地域の関係機関の連携による支援体制の整備等に関する取組のモデル的な実施

【委託事業】 就労の開始・継続段階の支援における地域連携の実践に関するモデル事業

充実に向けて

従来の支援の仕組み

多機関連携による
改善

「就労選択支援」の充実

均一化

ばらつきの解消

就労支援者の認識・知識・スキルのばらつき

【委託事業】就労の開始・継続段階の支援における地域連携の実践に関するモデル事業

【厚労科研】就労選択支援従業者の養成のための研修における標準プログラムの開発についての研究（2023年度）

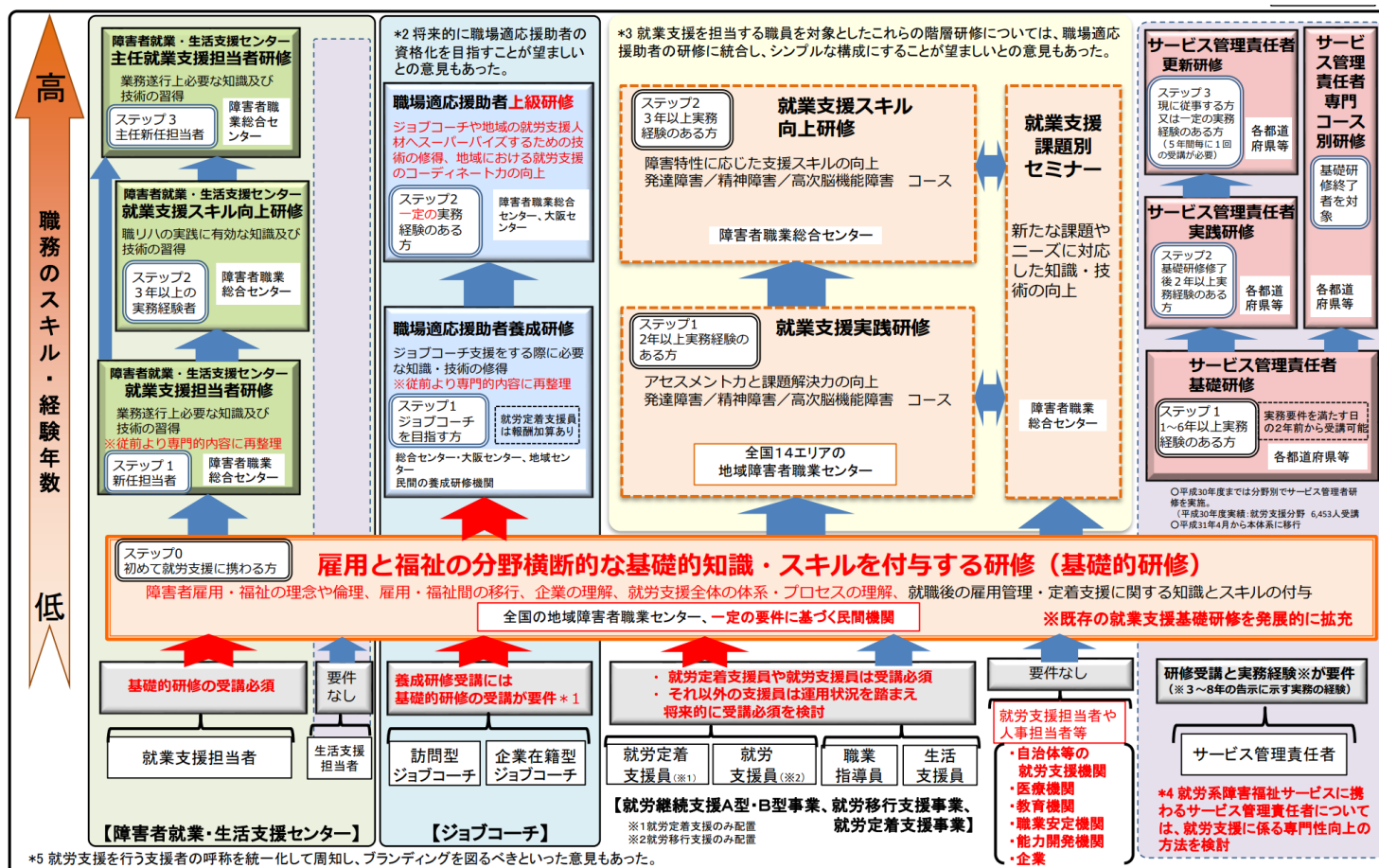
今後に向けた検討

「充実」と知識・スキルと充実

• 就労選択支援従事者の専門性とは何か？

• 支援についての説明責任

• 就労支援全体の底上げ



ポイント①

〈現状と課題について〉

- 障害者の就労能力や適性等については、現在も就労系障害福祉サービスの利用を開始する段階で把握しているが、それらを踏まえた働き方や就労先の選択には結びついていない面や、必ずしも質が担保されていない面がある。
- 就労を希望する障害者のニーズや社会経済状況が多様化している中で、障害者が働きやすい社会を実現するため、一人一人の障害者本人の希望や能力に沿った、よりきめ細かい支援を提供することが求められている。

ポイント②

〈就労選択支援とは〉

- 障害者本人が就労先・働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援する新たなサービス（就労選択支援）を創設する（障害者総合支援法）。
- ハローワークはこの支援を受けた者に対して、アセスメント結果を参考に職業指導等を実施するものとする。

ポイント③

〈支援の内容〉

- 本人と協同しながら、以下の支援を実施する。
- 就労に関する本人の意向、適性、能力、強みや課題、就労に当たって必要な支援や配慮等の整理
- 地域の関係機関を交えたケース会議の開催
- 地域における就労支援に係る社会資源や雇用事例などに関する情報提供
- アセスメント結果の作成
- 支援後の本人の選択に応じた、地域の関係機関との連絡調整

キーワード

- 本人の希望／意向／ニーズの把握
- 就労能力／適性／強み／課題の把握
- 配慮の整理
- ケース会議の運営
- 社会資源についての知識
- 雇用事例
- 結果票の作成、など

想定される知識とスキルとは①

必要となる科目内容として、以下のことが必要か？

- 就労アセスメントの手法と演習（観察評価）
- 就労アセスメントチェックリスト（JEED作成）の演習
- 結果票の作成指導
- インテーク、ニーズ把握のための手法
- ケース会議運営のスキル
- 障害者雇用事例、配慮などについての情報
- 労働系を中心とした社会資源について知識

想定される知識とスキルとは②

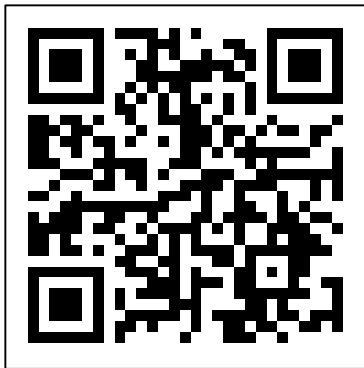
その他、気になる内容として・・・

- 個人情報保護（集団守秘とか、コンプライアンスとか、説明と同意とか・・・）
- スーパーバイズ、など

ご清聴ありがとうございました

前原和明（秋田大学）

maebara-kazuaki@ed.akita-u.ac.jp



←就労選択支援従事者養成研修の標準プログラムで必要となる知識やスキルについてのご意見をお待ちしております。

<https://jp.surveymonkey.com/r/2C8W3JT>

厚生労働科学特別研究事業

「就労選択支援従業者の養成のための研修における標準プログラムの開発についての研究」（23CA2011）

研究代表：前原 和明